

ラトビア月報

【2023 年 5 月】



2023 年（令和 5 年）6 月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ 次期大統領にリンケービッチ外相を選出 (P. 1)

【経済】

- ・ ラトビアとエストニアがエネルギー協力覚書締結 (P. 2)

【外交】

- ・ リンケービッチ外相の EU 外相非公式会合出席及び日本・ラトビア外相会談 (P. 4)

【その他】

- ・ ラトビアはアイスホッケー世界選手権で史上初の銅メダルを獲得 (P. 8)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。
月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆次期大統領にリンケービッチ外相を選出

5 月 31 日、国会で大統領選挙が実施され、3 回目の投票でリンケービッチ外相（与党「新・統一」推薦）が次期大統領に選出された。その他の候補者はピーレンス氏（与党「統一リスト」推薦）及びピント氏（野党「進歩党」推薦）であった。連立与党の「統一リスト」及び「ナショナル・アライアンス」はリンケービッチ外相を支持せず、野党である「緑と農民連合」及び「進歩党」の賛成票を得ての選出となった。

◆政府はベラルーシ国境近辺における非常事態宣言の再延長を決定

5 月 2 日、政府は、ラトビア・ベラルーシ国境及びリトアニア・ベラルーシ国境での違法越境者数が急増したため、ベラルーシ国境近辺における非常事態宣言の期限を 3 か月間延長し、2023 年 8 月 10 日までとすることを決定した。

◆4 月の政党支持率

5 月 12 日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する 4 月の世論調査結果を公表した。調査によると、先月と同様に第 1 位は「新・統一」、第 2 位は「緑と農民連合」だったが、「ラトビア・ファースト」が支持を伸ばし第 3 位となった。

政党名（%、括弧内は前回の国会選挙の得票率）	支持率 （%、括弧内は 2023 年 3 月の値）
「新・統一」（18.97）	11.1（9.3）
「緑と農民連合」（12.44）	9.0（9.1）
「統一リスト」（11.01）	7.7（6.2）
「ナショナル・アライアンス」（9.29）	6.2（6.1）
「安定のために」（6.80）	5.3（5.5）
「LPV（ラトビア・ファースト）」（6.24）	7.8（5.6）
「進歩党」（6.16）	7.2（7.1）
「発展・For！」（4.97）	—（—）
「調和」（4.81）	3.5（3.0）
「プラットフォーム 21」（3.67）	—（1.1）
「ラトビアのロシア連合」（3.63）	1.7（1.4）
「主権」（3.24）	—（1.6）
「保守党」（3.09）	1.7（0.9）
「Movement For」	1.8（1.1）

「ラトビアの発展のために」	- (0.7)
---------------	---------

(政党は上から 2022 年 10 月に実施された第 14 回国会選挙で獲得票数が多かった順)

◆2023 年 7 月からの兵役に 488 名が志願

2023 年 7 月からの兵役の最終志願日である 5 月 15 日までに、488 名のラトビア国籍者が志願した。このうち、11 名は女性であり、6 名は外国在住者である。今後、志願者の申請書及び犯罪歴を調査して問題がなければ、健康診断を行う。本来、300 名の志願者を受け入れる予定であったが、300 名以上が選抜された場合、全員を受け入れる予定。

◆2024 年以降の欧州議会選挙は任意の投票所で投票可能

5 月 25 日、国会は欧州議会選挙で有権者が任意の投票所で投票を可能とする改正欧州議会選挙法を可決した。これまでは住民登録のされている投票所でのみ投票が可能であった。同時に、投票日の投票時間を 1 時間短縮して午前 8 時から午後 20 時までとした。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアとエストニアがエネルギー協力覚書締結

5 月 12 日、気候・エネルギー省は、ラトビアとエストニアの両担当大臣がタリンにて危機時におけるパルディスキ LNG ターミナル（エストニア）の共同利用に関する協力の覚書を締結したと発表した。チュダルス気候・エネルギー相は、「この覚書の締結は、バルト地域の安全保障状況の強化に向けた新たなステップである。この協力関係は、様々な理由により、LNG の供給が途絶えた場合に備えるための重要な保証となる」と述べた。

◆エア・バルティック航空及びトルコ航空のコードシェア協定が発効

5 月 1 日、ラトビアのエア・バルティック航空及びトルコ航空間のコードシェア協定が発効し、双方の顧客にとって互いの就航先への渡航が容易になった。エア・バルティック航空は、今年の夏期シーズンに 1 シーズンで最大となる 20 の新たな都市へ新規就航する。

◆2023 年 4 月の失業率は 5.7%

5 月 10 日、国家雇用庁は 2023 年 4 月末の失業率は前月末比 0.3%減の 5.7%になったと発表した。

◆2023 年 4 月の消費者物価上昇率は 15.1%

5 月 11 日、中央統計局は、2023 年 4 月の消費者物価上昇率が前年同月比 15.1%、前月比では 0.3%となったと発表した。2022 年と同様、4 月の物価上昇は、主に住宅関連のエネルギー価格の上昇の影響を受けた。

◆欧州委員会は 2023 年のラトビアの GDP 成長率を前年比 1.4%増と予測

5 月 15 日、欧州委員会の「Spring 2023 Economic Forecast」によると、2023 年の GDP 成長率は 1.4%になると予測した。2023 年の消費者物価上昇率は 2 桁に近い値に留まるが、2024 年には 1.7%まで減少する。

欧州委員会が予測した 2023 年及び 2024 年のラトビアの主要経済指標は以下の通り：

	2023 年	2024 年
GDP 成長率 (%)	1.4	2.8
消費者物価上昇率 (%)	9.3	1.7
失業率 (%)	6.8	6.5
一般政府財政赤字 (対 GDP%)	3.8	2.7
一般政府債務 (対 GDP%)	39.7	40.5

◆2023 年第 1 四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年比 40%増

5 月 17 日、中央統計局は 2022 年第 1 四半期のラトビアの宿泊施設利用者数が前年同期比 40%増の約 386,900 人だったと発表した。このうち外国人は同 82.6%増の約 206,300 人、ラトビア国内からの宿泊施設利用者数は同 10.5%増の約 180,600 人だった。

◆2023 年第 1 四半期の失業率は 6.4%

5 月 25 日、中央統計局は 2023 年第 1 四半期の失業率は前期比 0.3%ポイント減、前年同期比 0.9%ポイント減の 6.4%であったと発表した。若者の失業率は前年同期比では 1.4%ポイント増、前期比 2.7%ポイント減の 13.4%となった。長期失業者が全失業者に占める割合は前期比及び前年同期比共に 0.7%ポイント増の 28.5%となった。

◆2023 年第 1 四半期の平均月給は 1,462 ユーロ

5 月 30 日、中央統計局は、2023 年第 1 四半期の平均月給は前年同期比 12.3% (160 ユーロ) 増の 1,462 ユーロ、手取りの平均月給は前年同期比 12.3%増の 1,071 ユーロとなったと発表した。

◆2022 年のシャドウ・エコノミーは前年比 0.1%ポイント減の対 GDP 比 26.5%

5 月 30 日、ストックホルム商科大学リガ校は、バルト諸国のシャドウ・エコノミー（地下経済）指数（2009 年-2022 年）を公表した。これによると、2022 年、ラトビアの GDP におけるシャドウ・エコノミーの割合は、前年より 0.1%ポイント減少して 26.5%となった。（エストニアでは前年比 1.0%ポイント減の 18.0%、リトアニアでは前年比 2.7%ポイント増の 25.8%。）2016 年以降、シャドウ・エコノミーが GDP に占める割合は、2019 年及び 2022 年を除いて上昇した。

◆「EestiGaas」社の株主である「Infortar」社は上場を延期

5 月 30 日、「EestiGaas（エストニア・ガス）」社の株主である投資会社の「Infortar」は、GASO 社の買収に時間がかかるため、今春に予定していた株式の新規公開を今秋に延期すると発表した。4 月、ラトビア・ガス社は「EestiGaas」社に GASO 社を 1 億 2 千万ユーロで売却する合意書に署名した。GASO 社の購入には、ラトビア政府及び公正取引委員会の承認が必要となり、今夏に承認される予定。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆リンケービッチ外相の EU 外相非公式会合出席及び日本・ラトビア外相会談

5 月 13 日、リンケービッチ外相はストックホルムにて EU 外相非公式会合に出席し、ウクライナへの軍事・政治的支援及びロシアへの圧力を維持する必要性について強調した。同日行われた日・ラトビア外相会談について、リンケービッチ外相は、「林外相と会い、政治及び貿易問題、ウクライナ支援、ロシアによるウクライナへの侵略犯罪を訴追する国際法廷の設置に関して協議できたのは、いつもながら嬉しいことだった」と自身の SNS 上に投稿した。

◆政府は対艦ミサイルシステムの購入を支持

5 月 2 日、政府は対艦ミサイルシステム（NSM：Naval Strike Missile）の購入を支持した。この購入に際し米国は多額の資金援助を行い、また兵士に対しミサイルの使用やシステムのメンテナンスのための訓練も提供する予定。NSM は 2025 年以降に納入される予定。

◆2024 年にデンマークはラトビアに大隊を派遣

5 月 2 日、デンマーク国防省は来年、NATO 大隊をラトビアに派遣すると発表した。2024 年半ばからバルト諸国を防衛するための NATO 大隊を提供し、一年のうち一定期間はラトビアに、残りの期間はデンマークに配備される。大隊は 700 人から 1200 人の兵士で構成される予定。

◆フッサール・エストニア国会議長のラトビア訪問

5 月 3 日、フッサール・エストニア国会議長はラトビアを訪問し、リンケービッチ外相、スミルテーンズ国会議長と会談した。リンケービッチ外相は、両国の協力関係を高く評価するとともにロシアのウクライナ侵攻への対処で特に重要な多国間枠組みにおけるエストニアとの積極的な協力を歓迎した。スミルテーンズ国会議長との会談で、両議長は今夏のヴィリニウス NATO 首脳会合の重要性を強調し、ウクライナの NATO 及び EU への加盟を支持する必要性を指摘した。今回のラトビア訪問はフッサール国会議長就任後初の外国訪問。

◆ハスラー・リヒテンシュタイン外相のラトビア訪問

5 月 8 日、ハスラー・リヒテンシュタイン外務・教育・スポーツ相はラトビアを訪問し、リンケービッチ外相と会談した。両外相はロシアのウクライナでの犯罪に関する特別国際法廷の設立に向けたこれまでの取組を歓迎するとともに、ウクライナへの支援を続ける必要性について一致した。ラトビアは本年 5 月から 11 月まで欧州評議会閣僚委員会議長国を務め、その後はリヒテンシュタインが議長国を引き継ぐ。

◆政府は次期欧州評議会閣僚委員会議長国としてのラトビアの優先事項を承認

5 月 9 日、政府は、ラトビアが 5 月 17 日から欧州評議会閣僚委員会議長国をアイスランドから引き継ぐにあたり、議長国としての優先事項を承認した。優先事項は、(1) 民主主義と法の支配の強化、(2) 表現の自由、ジャーナリストの安全及びデジタル課題の推進、(3) 欧州評議会の改革の 3 点。なお、今回の議長国就任は、同評議会に加盟してから 2 回目。

◆レヴィッツ大統領が特別法廷設置に関するオンライン首脳会合で演説

5 月 9 日、レヴィッツ大統領は対ウクライナ侵略犯罪を訴追するための特別法廷の設置に関するオンライン首脳会合に出席し、演説を行った。演説では、ウクライナの領土一体性は妥協できる問題ではなく、ロシアは即刻かつ無条件にこの戦争を終わらせ、軍を撤退させなければならないと強調した。また、侵略犯罪に関するロシアの説明責任を確保しなければならないと強調した。

◆ムールニエツェ国防相のカナダ訪問

5 月 8 日から 11 日、ムールニエツェ国防相はカナダを訪問し、アナンド加国防相と会談した。ムールニエツェ国防相はラトビア及びバルト地域の安全保障に対するカナダのリーダーシップと貢献に謝意を表明した。両国防相は、両国の新たな共同イニシアティブであるラトビアでのウクライナ軍の下級将校向けの訓練プログラムを発表した。訓練は数日中に開始される予定で、カナダは 10 名の教官をラトビアに派遣する。

◆ヴェステア欧州委員会上級副委員長（デジタル担当）のラトビア訪問

5 月 11 日、ヴェステア上級副委員長はラトビアを訪問し、カリンシュ首相及びレヴィッツ大統領と会談した。カリンシュ首相は会談後、ウクライナ支援の継続に関して EU には揺るぎない決意があると強調し、EU は欧州共通の経済及びエネルギー政策を見直すことが重要であると述べた。レヴィッツ大統領との会談では、AI の急速な発展がもたらす課題について協議し、同大統領はデジタル技術による世論操作は許容すべきでないと指摘するとともに、巨大なインターネットプラットフォームに表現の自由の制限を定義する権利を与えている現在の規制は問題であると強調した。

◆ウィットマー・ミシガン州知事のラトビア訪問

5 月 11 日、ウィットマー・ミシガン州知事はラトビアを訪問し、レヴィッツ大統領と会談した。同大統領はラトビアにおける米軍のプレゼンスの重要性を強調し、また旅団規模の NATO 軍をラトビアに配備するための取組を継続する重要性を指摘した。両者は、ウクライナへの軍事支援を強化する必要性について一致した。今年は、ラトビア国軍とミシガン州兵の公式な協力関係設立から 30 周年にあたる。

◆カリンシュ首相のバルト三国首相会合出席

5 月 12 日、カリンシュ首相はタリンにおいてバルト三国首相会合に出席した。同首相は、バルト三国は可能な限り早く欧州と電力網を同期させることを決意し、エネルギー自立、地域の安全保障及びウクライナ支援に関して共通のビジョンがあると強調した。

◆スミルテーンズ国会議長一行のスペイン訪問

5 月 12 日、スミルテーンズ国会議長一行はスペインを訪問し、バテット下院議長及びナルボナ上院副議長と会談した。同国会議長はラトビアの安全保障に対するスペインの貢献を高く評価するとともに、NATO の東部側面を強化する重要性を強調した。スペイン側は両国の課題である EU 共通の移民政策に向けた取組の必要性を強調した。今回の訪問には、ベルグマニス議員、コルス議員、スプルーズ議員が同行した。

◆レヴィッツ大統領及びリンケービッチ外相の欧州評議会首脳会合出席

5 月 16 日、レヴィッツ大統領及びリンケービッチ外相はレイキャビクで開催された欧州評議会首脳会合に出席した。レヴィッツ大統領はヨハネソン・アイスランド大統領と会談し、両大統領はウクライナの補償メカニズム・損害登録機関の設立及び欧州評議会としての国際特別法廷への支持等について協議した。そのほか、パヴェル・チェコ大統領とも会談を行った。リンケービッチ外相は、ギルヴァドッティル・アイスランド外相と会談し、ラトビア議長国の優先事項及び国際機関における協力について協議した。そのほか、ベッカーリ・サンマリノ外務・国際経済協力・通信長官、ミルゾヤン・アルメニア外相、モレノ・メキシコ筆頭外務次官とも会談した。

◆スミルテーンズ国会議長のエストニア訪問

5 月 18 日から 19 日、スミルテーンズ国会議長はエストニアを訪問し、バルト会議(Baltic Assembly) の東方パートナーシップ会議に出席し、フッサール・エストニア国会議長及びチュミリーテ＝ニールセン・リトアニア国会議長と会談した。バルト三国国会議長は NATO マドリード首脳会合での決定の実施に向けて取り組む必要があるとの見解で一致した。また、スミルテーンズ国会議長は東方パートナーシップ諸国の強化のためのバルト三国の役割に関する会議で、ウクライナ及びモルドバの勇敢な政治的決定はウクライナだけでなく

欧州全土の長期的安定・成長に肯定的な影響を与えると述べた。

◆ラトビアはエストニアと対空ミサイル IRIS-T を共同購入

5 月 21 日、ムールニエツェ国防相及びペヴクル・エストニア国防相は両国が対空ミサイル IRIS-T を共同で購入すると発表した。同ミサイルは 2025 年から引き渡される予定。また、2024 年のエストニアのアマリ空軍基地の改修工事期間、ラトビアのリエルヴァールデ空軍基地に NATO 軍の戦闘機及びその人員が配備されると述べた。

◆リンケービッチ外相の EU 外務理事会出席

5 月 22 日、リンケービッチ外相はブリュッセルを訪問し、EU 外務理事会に出席した。同外相はウクライナへの軍事支援の重要性を強調し、対ロシア制裁第 11 弾を採択して制裁回避に対する厳しい措置を講じるよう要請した。また、ベラルーシへの新たな制裁を採択するよう要請した。同理事会ではウクライナ情勢の他、アフリカの角及び西バルカン情勢等に関しても協議された。同理事会の枠組みでリンケービッチ外相はバルト三国・ポーランド外相会合に出席し、NATO ヴィリニウス首脳会合の準備等に関して協議した。

◆ムールニエツェ国防大臣の EU 外務理事会の国防大臣会合出席

5 月 23 日、ムールニエツェ国防相はブリュッセルを訪問し、EU 外務理事会の国防相会合に出席した。同国防相は「ラトビアは欧州平和ファシリティへの予算増額及び更なるウクライナへの財政支援を支持する」と述べた。同国防大臣は、ウクライナ情勢及び EU・NATO 間の提携に関して協議するため、ストルテンベルグ NATO 事務総長とのワーキングランチに出席した。

◆カリンシュ首相とストルテンベルグ NATO 事務総長の会談

5 月 24 日、カリンシュ首相はブリュッセルにてストルテンベルグ NATO 事務総長と会談し、7 月の NATO ヴィリニウス首脳会合の準備及びウクライナへの支援の継続について協議した。今回の訪問では、カヴォリ NATO 欧州連合最高司令官とも会談した。

◆カリンシュ首相とメッツォーラ欧州議会議長の会談

5 月 24 日、カリンシュ首相はブリュッセルにてメッツォーラ欧州議会議長と会談し、EU 加盟交渉の開始を含む EU のウクライナへのさらなる支援及びウクライナで行われた戦争犯罪に対しロシアを起訴することについて協議した。また同首相は、欧州議会訪問中にヴェーバー欧州人民党党首および同党メンバーと会談した。

◆ラトビア・中国政務協議の開催

5 月 24 日、ラトビア外務省は第 2 回ラトビア・中国政務協議をオンラインで開催した。両者は二国間協力のほか、地域及び国際問題について議論した。また、両国の見解が異な

る部分があっても定期的な政治対話を維持することが不可欠であるとの意見で一致した。

◆リンケービッチ外相とコックス欧州評議会議員会議議長ほかとの会談

5 月 25 日、リンケービッチ外相はリガにてコックス欧州評議会議員会議（PACE）議長及びペイチノビッチ＝ブリッチ事務局長と会談し、ラトビアは欧州評議会閣僚委員会議長国として人権、民主主義及び法の支配の強化に関して PACE と緊密に協力する用意があること及びレイキャビクで行われた欧州評議会サミットでの決定事項の実施のための取組に関するコミットメントを再確認した。

◆レヴィッツ大統領とコックス欧州評議会議員会議議長との会談

5 月 26 日、レヴィッツ大統領はユールマラの自邸にてコックス欧州評議会議員会議（PACE）議長と会談し、ロシアのウクライナ侵攻を裁くための国際特別法廷の設置について協議した。

◆バルト三国首相およびショルツ独首相との会合

5 月 26 日、カリンシュ首相はタリンにてカッラス・エストニア首相、シモニーテ・リトアニア首相及びショルツ独首相と会合した。カリンシュ首相は、欧州はウクライナがロシアの軍事侵攻に対して勝利するまで、引き続き支援しなければならない、勝利とウクライナの EU 及び NATO 加盟によってのみ欧州の永続的な平和が保証されると強調した。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアはアイスホッケー世界選手権で史上初の銅メダルを獲得

5 月 12 日から 28 日までアイスホッケー世界選手権 2023 がタンペレ（フィンランド）及びリガで共同開催された。25 日、ラトビアはスウェーデンに 3 対 1 で勝利し、史上初となる世界選手権での準決勝進出を決めた。27 日の準決勝ではラトビアはカナダに 4 対 2 で敗北。28 日の 3 位決定戦ではラトビアは米国に 4 対 3 で勝利し、アイスホッケー世界選手権で史上初の銅メダルを獲得した。

28 日の深夜、ラトビア国会は 2023 年 5 月 29 日を「2023 年アイスホッケー世界選手権でのラトビアチームの銅メダル獲得日」と定め祝日とする法案を可決。29 日、自由の記念碑広場に約 3 万人が集まり、ラトビアのアイスホッケー・チームの凱旋を祝った。

◆「世界報道自由度 2023」でラトビアは第 16 位

5 月 3 日、国境なき記者団が発表した「世界報道自由度 2023」によると、ラトビアは昨年より 6 位上昇して第 16 位となった。リトアニア及びエストニアはそれぞれ第 7 位及び第 8 位。第 1 位は 7 年連続でノルウェー、第 2 位はアイルランド、第 3 位はデンマーク、

第 178 位はベトナム、第 179 位は中国、第 180 位は北朝鮮となった。日本は第 68 位。

◆「リミ・リガ・マラソン」のフルマラソンで男女共にラトビア人が優勝

5 月 6 日から 7 日、「リミ・リガ・マラソン」がリガで開催された。男子フルマラソン及び女子フルマラソンで、ラトビア人のアレクサンドルス・ラスツェウスキス選手とアマンダ・クルーミニャ選手がそれぞれ自己ベスト記録で優勝した。

◆ラトビアでロシアの戦勝記念日は比較的平穏に終了

ロシアの戦勝記念日である 5 月 9 日、ラトビアではロシアのウクライナ侵攻を正当化した等の理由で拘束された者はいたが、比較的平穏に終了した。また、在ラトビア・ロシア大使館に約 20 名が集まり、ウクライナでの戦争中止を求めてデモを行った。

(了)

2023年5月の主な出来事

	【内政】	【外交】
5月	2日、政府、ベラルーシ国境近辺の非常事態宣言の再延長を決定 2日、政府、対艦ミサイルシステム購入を支持 9日、政府、次期欧州評議会閣僚委員会議長国としてのラトビアの優先事項を承認 11日、国会、ベラルーシ国境近辺の非常事態宣言の再延長決定を承認 12日、ラトビアとエストニア、エネルギー協力覚書締結 13日、大統領選挙の候補者3名決定 28日、ラトビアチーム、アイスホッケー世界選手権2023で銅メダル獲得 31日、大統領選挙、リンケービッチ外相を次期大統領に選出	3日、フッサール・エストニア国会議長、ラトビア訪問 8日～11日、ムールニエツェ国防相、カナダ訪問 8日、ハスラー・リヒテンシュタイン外相、ラトビア訪問 9日、レヴィッツ大統領、特別法廷設立に関するオンラインサミットで演説 11日、ヴェステア欧州委員会上級副委員長(デジタル担当)、ラトビア訪問 11日、ウィットマー・シンガン州知事、ラトビア訪問 12日、スミルテーンズ国会議長一行、スペイン訪問 12日、カリンシュ首相、バルト三国首相会合出席 13日、リンケービッチ外相、EU外相非公式会合出席及び日・ラトビア外相会談 16日、レヴィッツ大統領及びリンケービッチ外相、欧州評議会首脳会合出席 18日～19日、スミルテーンズ国会議長、エストニア訪問 22日、リンケービッチ外相、EU外務理事会出席 23日、ムールニエツェ国防相、EU外務理事会国防相会合出席 24日、カリンシュ首相、ストルテンベルグNATO事務総長と会談(於ブリュッセル) 24日、カリンシュ首相、メツォーラ欧州議会議長と会談(於ブリュッセル) 25日、リンケービッチ外相、コックス欧州評議会議員会議議長及びペイチノビッチ＝ブリッチ事務局長と会談(於リガ) 26日、レヴィッツ大統領、コックス欧州評議会議員会議議長と会談(於ユーラマラ) 26日、カリンシュ首相、カッラス・エストニア首相、シモニーテ・リトアニア首相及びショルツ独首相と会合(於タリン)

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
名目GDP	百万ユーロ	26,984	29,154	30,679	30,265	33,617	39,063	9,149	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	13,901	15,135	16,035	15,922	17,853	20,709	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	3.3	4.0	2.6	▲ 2.3	4.3	2.8	0.8	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	67	69	69	72	72	74	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

財政収支, 政府債務残高

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 208	▲ 245	▲ 178	▲ 1,321	▲ 2,398	▲ 1,721	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.4	▲ 7.1	▲ 4.4	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,493	10,784	11,209	12,711	14,688	15,947	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	38.9	37.0	36.5	42.0	43.7	40.8	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
失業率	%	8.7	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.4	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.9	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	19.7	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	926	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,462	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	676	742	793	841	939	1,006	1,071	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	380	430	430	430	500	500	620	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	14,744	15,337	16,053	16,810	21,228	22,590	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	11,647	12,773	12,966	13,305	16,452	21,391	5,027	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	14,177	15,793	15,914	15,159	19,519	26,489	5,774	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,098	▲ 747	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
日本への輸出	千ユーロ	50,526	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	13,526	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	22,282	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	6,761	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	28,244	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	6,765	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,573	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	982	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,017	8,847	8,868	8,650	10,088	16,769	3,259	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,426	▲ 2,277	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	出典
ラトビア→日本	人	2,487	2,551	2,701	393	197	631	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	24,576	29,534	20,416	2,358	396	1,229	509	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2023年5月末現在、1ユーロ=150円程度。

(2023年6月2日まで公表分のデータ)